



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネット

コード番号 7552 URL <http://www.happinet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 苗手 一彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 浅津 英男 TEL 03-3847-0410

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	76,211	△13.9	1,007	△56.5	1,072	△55.7	709	△53.5
24年3月期第2四半期	88,508	4.0	2,316	86.8	2,422	84.2	1,526	114.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 698百万円 (△50.6%) 24年3月期第2四半期 1,413百万円 (201.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	31.68	31.58
24年3月期第2四半期	68.14	—

(注) 平成23年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これにより、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成24年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	51,003	22,136	43.4
24年3月期	54,323	21,795	40.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 22,112百万円 24年3月期 21,777百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	22.50	—	16.25	38.75
25年3月期	—	11.25	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	11.25	22.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 平成24年3月期期末配当金の内訳 記念配当 5円00銭

3. 当社は平成23年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、平成24年3月期第2四半期末の1株当たり配当金は、当該株式分割前の数値で記載しております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合、平成24年3月期第2四半期末の1株当たり配当金は11円25銭となります。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	△14.2	2,900	△40.3	3,000	△40.4	1,800	△26.8	80.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	24,050,000株	24年3月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,647,870株	24年3月期	1,647,990株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	22,402,026株	24年3月期2Q	22,402,559株

(注) 平成23年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これにより、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の債務問題や円高の長期化の影響等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属するエンタテインメント業界におきましては、少子化や消費者ニーズの多様化、ソフト配信やソーシャルゲームの影響によるパッケージ市場の低迷等、依然厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの業績につきましても、当第2四半期連結累計期間におきましては、市場を牽引するようリード商材がなかったこと等により苦戦を強いられました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は762億1千1百万円（前年同期比13.9%減）、営業利益は10億7百万円（同56.5%減）、経常利益は10億7千2百万円（同55.7%減）、四半期純利益は7億9百万円（同53.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①玩具事業

中核事業であります玩具事業は、バンダイの新キャラクター商材で「仮面ライダーウィザード」が好調な滑り出しをしているものの、玩具事業全体では前年同期を下回って推移いたしました。

この結果、売上高は324億1千万円（前年同期比4.9%減）、セグメント利益は8億3千3百万円（同33.3%減）となりました。

#### ②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、インターネットを利用した配信等の普及によりパッケージ市場全体が低迷する中、当社グループにおきましても苦戦を強いられました。また、利益面に関しましても、利益率の高い映像製作出資作品や独占販売作品において目立ったヒット作がなかったことにより低調に推移いたしました。

この結果、売上高は207億1千1百万円（前年同期比22.4%減）、セグメント利益は1億7百万円（同68.2%減）となりました。

#### ③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業におきましては、平成24年7月に携帯ゲーム機「ニンテンドー3DS LL」の発売があり、一部にヒット商材があったものの、当社グループに関しましては低調に推移いたしました。

この結果、売上高は131億2千7百万円（前年同期比20.4%減）、セグメント利益は9千8百万円（同75.8%減）となりました。

#### ④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、玩具自動販売機商材やキッズカードゲーム機で昨年を上回る商材がなかったことにより、前年同期を下回って推移いたしました。また、利益面に関しましても、在庫処分等の発生により苦戦を強いられました。

この結果、売上高は99億6千2百万円（前年同期比11.2%減）、セグメント利益は6億5百万円（同38.8%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ33億1千9百万円減少し、510億3百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金等の流動資産の減少29億5千万円によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ36億5千9百万円減少し、288億6千7百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金等の流動負債の減少36億7千8百万円によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億4千万円増加し、221億3千6百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加3億4千5百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績の状況を踏まえ、当初の業績予想を修正いたしました。

詳しくは平成24年11月2日に発表させて頂きました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更  
(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,359	10,512
受取手形及び売掛金	26,755	23,398
たな卸資産	6,168	8,405
その他	3,055	3,068
貸倒引当金	△69	△66
流動資産合計	48,269	45,318
固定資産		
有形固定資産	1,392	1,353
無形固定資産		
のれん	539	370
その他	1,176	961
無形固定資産合計	1,715	1,331
投資その他の資産	2,946	2,999
固定資産合計	6,054	5,685
資産合計	54,323	51,003
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,042	21,541
未払法人税等	1,605	376
賞与引当金	472	261
その他の引当金	36	40
その他	4,459	3,719
流動負債合計	29,617	25,939
固定負債		
退職給付引当金	1,780	1,828
その他	1,129	1,099
固定負債合計	2,909	2,927
負債合計	32,527	28,867
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,775	2,775
利益剰余金	17,213	17,559
自己株式	△1,091	△1,091
株主資本合計	21,649	21,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128	118
繰延ヘッジ損益	0	△1
その他の包括利益累計額合計	128	117
新株予約権	17	22
少数株主持分	1	1
純資産合計	21,795	22,136
負債純資産合計	54,323	51,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	88,508	76,211
売上原価	76,634	66,019
売上総利益	11,874	10,192
販売費及び一般管理費	9,557	9,185
営業利益	2,316	1,007
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	20	16
負ののれん償却額	18	14
その他	71	38
営業外収益合計	111	70
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	0	1
その他	2	0
営業外費用合計	5	5
経常利益	2,422	1,072
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	—	5
会員権売却益	1	—
特別利益合計	3	5
特別損失		
固定資産売却損	7	1
固定資産除却損	1	1
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	—	31
減損損失	—	13
会員権評価損	0	7
会員権売却損	1	—
災害による損失	29	—
特別損失合計	41	55
税金等調整前四半期純利益	2,384	1,022
法人税、住民税及び事業税	802	371
法人税等調整額	55	△59
法人税等合計	857	312
少数株主損益調整前四半期純利益	1,527	710
少数株主利益	0	0
四半期純利益	1,526	709

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,527	710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112	△9
繰延ヘッジ損益	△1	△1
その他の包括利益合計	△113	△11
四半期包括利益	1,413	698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,412	698
少数株主に係る四半期包括利益	0	0



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,384	1,022
減価償却費	346	323
減損損失	—	13
のれん償却額	150	154
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8	△5
株式報酬費用	5	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△78	△211
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	66	48
受取利息及び受取配当金	△21	△17
支払利息	2	2
固定資産除売却損益 (△は益)	6	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	△5
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	31
会員権評価損	0	7
為替差損益 (△は益)	0	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△441	3,357
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△444	△2,236
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,314	△1,501
その他	△142	△722
小計	3,142	271
利息及び配当金の受取額	21	17
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△1,036	△1,593
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,124	△1,306
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△24	△69
有形固定資産の売却による収入	32	1
無形固定資産の取得による支出	△86	△72
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	2	6
その他	16	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64	△173
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△168	△363
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170	△364
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,888	△1,846
現金及び現金同等物の期首残高	8,220	12,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,109	10,512

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	34,092	26,702	16,492	11,220	88,508	—	88,508
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	34,092	26,702	16,492	11,220	88,508	—	88,508
セグメント利益	1,249	338	404	989	2,981	△664	2,316

(注) 1. セグメント利益の調整額△664百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△664百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	32,410	20,711	13,127	9,962	76,211	—	76,211
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	32,410	20,711	13,127	9,962	76,211	—	76,211
セグメント利益	833	107	98	605	1,644	△637	1,007

(注) 1. セグメント利益の調整額△637百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△637百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の各報告セグメントのセグメント利益に与える影響は軽微であります。